

歴博 くらしの植物苑だより

第131回くらしの植物苑観察会 2月27日(土)

造花にこめられた春の祈り

松尾 恒一(国立歴史民俗博物館)

仏教儀礼と花

- ・お彼岸と花
- ・浄土真宗、報恩講と立花
- ・立花以前、ばさら大名と花会

植物と鎮魂

やすらい花

平安時代にはじまる。桜の花の散る頃になると、悪い病気が流行し人々が苦むので、疫病を退散させるため「花しずめの祭」を行ってきた。風流の扮装をして、鉦や太鼓をたたき、踊りながら神社に参拝し、無病息災を祈願したことに始まる。

動物霊の鎮魂

- ・イノシシの解体の際に敷き詰められる柴...高知県物部、宮崎県椎葉
- ・熊霊を鎮める柴...マタギ

*山の神信仰

樹木と山の神の眷属(鳥等の禽獣)

新春の祈りと造花

あわぼ・ひえぼ...民俗に見る正月と造花

修正会・修二会と造花

* 奈良の修二会...東大寺（お水取り）、薬師寺（花会式）、法隆寺、興福寺

* 修正会・修二会の儀礼

練行衆による悔過 / 咒師による密教的な結界作法 / 荘厳...餅と造花 / 牛玉宝印 / 鬼追い式

次回予告 第132回くらしの植物苑観察会 2010年3月27日(土)

「村絵図を持って村を歩こう」 久留島 浩(当館研究部歴史研究系)

13:30~15:30(予定) 苑内休憩所集合 申込不要 要入苑料